



Camnet マガジンをお楽しみの方へ。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は川崎医科大学の中の川崎医学会の運営委員長でデジタルサイネージに機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。Ms. Keiko C の描いたイラスト、Ms. Saori T の絵手紙と僕の写真です。2020 年の 1 月と 2 月のスライドを紹介します。



これは実は富山城〜雪に映える天守閣です。



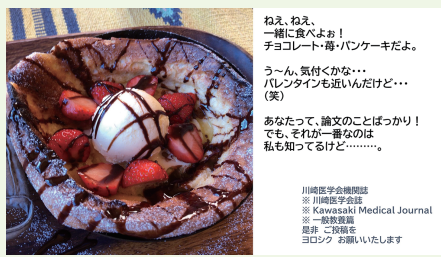
笑う門には福来る…と思っていたら、やってきたのは極悪のウイルスで、2021 年には疫病退散を願いたいです。



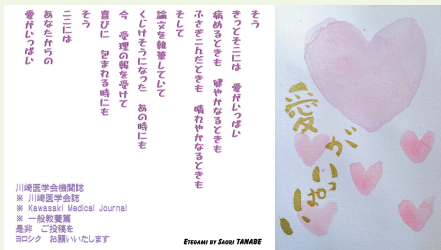
それでも冬、暖かくして外に出てみたい気持ちもしますよね。



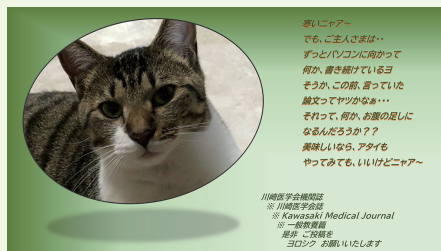
葉を落とした街路樹に積もる雪は、幻想的な情景を見せてくれます。



そうそう、あそこのパンケーキが評判って、首相かよ！！



二月になるとバレンタインかな？ 愛がいっぱい？ 憧れますね。



大槻家には、実はイエネコちゃんが、三匹、女子ばかりです。キキとハナ（この写真）とラビです。よろしくね。



寒い季節に、切なげに見つめられると、気持ちが凍り付くようになる。もう少しだけ、その頬に微笑の断片を浮かべてくれるなら、キミの凍えた両手を包み込んでみよう。

さて 2021 年には、一人ひとりの無病息災、さらに、国際的にも疫病が終息していくことを祈念するしかありません。生活様式は少し変化するかも知れませんが、自らをしっかり保った上で、あなたと、そして皆とつながって行きましょう。

\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\*

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。

「冬のおもいで」は、大槻の作詞作曲です。1 月号のネットラジオ「雲心月性」では、弾き語りで紹介しました。

冬のおもいで

泣きだせば くずれそう  
張り詰めた 冬の空気  
振り向いて 捜しても  
足音は 風のたわむれ

君のコートの 粉雪を  
そっとはらって あげたとき  
抱きしめていれば 抱きしめていれば

駆け出せば くずれそう  
霜のふる 石の舗道  
静けさを 逃げ出して  
何もかも 忘れてたいのに

君のまつげの 粉雪が  
ガラス細工に 見えた時  
抱きしめていれば 抱きしめていれば

\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\*

2 か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまいますが、COVID-19、新しい生活様式の中で、少しずつ生活が彩られて行っていれば、と祈念しています。

## プロフィール 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授  
0歳: 京都府福知山市にて生誕  
14歳: 京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位  
14歳: KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用  
15歳: 倉敷市に転居  
15 & 18歳: NHKあなたのメロディー出演  
18歳: YAMAHAポップン全国大会 (譜面の部) 出場  
20歳: YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり  
24歳: 川崎医科大学卒業  
以降: 川崎医科大学血液内科〜衛生学にて診療・研究・教育に従事  
1992-1996年: 米国留学 (医学研究)  
1996年: 岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載  
2009年: Camnet CH-F (10-19) パーソナリティ担当  
現在に至る

オリジナルCD  
プレゼントします！  
詳しくは  
プレゼントコーナーで